

強みを生かして独立。ファンに喜ばれる商品提供継続のため事業承継

企業の概要

企業名：株式会社ビーピーシー
 代表者：大鷲 尚哉氏
 所在地：栃木県佐野市
 業 種：ダイビングスーツ他マリンスポーツ関連用品販売。リバースーツも拡販中。
 従業員：3名



大鷲尚哉さん(左)と奥様の直美さん(右)

事業承継の概要

- 承継方法：株式譲受+事業譲受
- 支援方法：株式譲受、事業譲受や独立のアドバイス

1 事業引継ぎに至るまでの経緯

佐野市の大鷲さんは、さまざまな業種の事業を扱うグループ企業の一つでマリンスポーツ用品部門の部長を務め、全国各地の個人客やダイビングショップ向けにオリジナル製品を販売してきました。コロナの影響等により勤務先の社長から、マリン部門の撤退を考えると相談を受けました。

大鷲さんは、同部門への深い愛着を断ちがたく、全国にいる自社製品のファンへ迷惑をかけたくない思いも募り、同部門と自身の将来について社長と議論を重ねました。

社長からは、功労者の大鷲さんに対し、社内別部門の責任者の地位を用意する話もありましたが、大鷲さんは安定した立場よりも、製品開発ノウハウやさまざまな提案力、アフターサービス力等を活用してお客さまに直接貢献できる道を選びました。そして、リスクを覚悟の上で独立し、マリン事業の引継ぎを意思しました。

そこで、最寄りの佐野市あそ商工会へ相談に訪れ、起業手続きやさまざまな助成制度等の説明を受けた上で当センターを紹介され、相談に至りました。

2 事業承継・引継ぎ支援センターでの支援内容

今回の事例は、グループ企業内に休眠中のマリン関連子会社があるため、その子会社の株式を社長から大鷲さんが譲受した上で、親会社のマリン部門を事業譲受するという

2段階契約でした。当センターとしては、①譲受する会社の財務状態や在庫等の確認、②譲渡契約書の確認、③スタート時の資金負担を極力軽減するために、販売店舗を賃借して在庫は販売できた時点で支払う、以上の3点をアドバイスしました。その後数回の話し合いを経て、最終的に株式譲渡と事業譲渡の契約に至りました。事務所は、大鷲さんのご自宅を一部改築して活用。最低限必要な在庫を適正価格で買い取り、「株式会社ビーピーシー」として新スタートを切りました。

大鷲さんは、会社を辞めて全面的なバックアップを申し出てくれた奥様と二人三脚で、こよなく愛するマリンスポーツ分野で存分に力を発揮し、精力的に活動されています。

3 支援による効果

慣れ親しんだ商品やサービスを引き続き利用できることは、全国のファンにとって大きな朗報であり、大鷲さんにとっても長年の夢であった起業を果たすことができました。



栃木県事業承継・引継ぎ支援センター
 承継コーディネーター
 瓦井 昇



バックナンバーはこちら

きました。

また大鷲さんは、マリン用ダイビングスーツ等を開発してきましたが、取引先の消防署からの要望を受け、急増する自然災害や水難事故の救助用に適した、生地が薄くストレッチ性の高い「リバー用ウェットスーツ」を開発。河川では長い潜水に必要な保温性や耐久性を多少犠牲にしても、「夏の炎天下の作業し易さが必要」との声に応えた画期的新製品です。試作品は高く評価され、全国の消防署等へ販売活動を拡大中です。大鷲さんは次の一手として、流行してきたラフティング等のリバースポーツへの展開も始めました。夢はマリンとリバー、二つの分野でお客さまに役立つ商品を提供し続けること。そう熱く語る大鷲さんと奥様の、第2のストーリーの幕開けです。



人気のウェットスーツ